青少年相談センターだより

富士市青少年相談センター

静岡県富士市八代町１番１号　富士市教育プラザ内
電話＜０５４５＞５２－４１５２
FAX ＜０５４５＞５２－３７３７

令和３年度　第２号

通　学　路

富士市青少年指導委員会　会長　清　泰雅

先日、下校時の小学生の列にトラックが突っ込み５名の死傷者が出た痛ましい事故がありました。
そのためでしょうか、地区生涯学習推進会からの提案で、通学路の危険箇所のチェックを兼ねて、一年生と一緒に下校することとなりました。

生涯学習推進会役員と交通安全対策協議会の方と、下校時と登校時を想定して歩いてみました。
気がついたことは、歩道が歩きづらい、横断歩道が経年劣化か交通量の多さにより消えかかっている、道路際の水路にガードがないために出水時に道路との境が判らないような箇所がある、幅の広い歩道なのに雑草が生い茂り幅を狭めている等々。
横断歩道も定期的に補修されているようですが、消えかかった箇所の多さには驚きました。水道工事か何かで工事をした箇所が舗装は綺麗になっている一方、横断歩道を書き忘れている箇所もありました。
全ての横断歩道は行政もしくは警察で管理されているとは思うのですが、道路は国道、県道、市道、私道と管理しているところが違うので、どこに通報して良いのか、考えてしまいます。
そもそも、そこの道路が（国道は標識があるので良いのですが）県道なのか市道なのかの判断は難しいと思うのです。

ハード面は通報や行政への改善要求により、修理補修はされるとは思うのですが、人為的な事故はこのままでは減らないということも感じます。
横断歩道前に止まり、手を挙げている子供の前を通過していく車のなんと多いことか。
片側の車が止まってくれたのを見て反対側を確認しないで渡ろうとした小学生の横をすり抜けていった車もありました。
実際に現場を歩いてみないと感じられないことが多いのだなと実感しました。
子供たちも注意はしているとは思うのですが、暑い時期となり、荷物も多く、真っ赤な顔をして下校している姿から判断すると、きっと注意力も低下していることでしょう。
子供たちを守るには、車を運転している方がより注意をしなければならないと感じました。

千葉で起こった事故は、運転をする以前の問題でしたが、罰則を強化しても未だ酒を飲んで運転をする輩が減らないのはなぜでしょうか？
やはり自己中心的な考えの方が増えているのではないかと思うのは私だけでしょうか？
自己はもちろん大事ですが　他人のことを思いやる気持ちも大切にしたいと思います。

行政に通報するのが面倒だと書きましたが、便利なアプリがありました。
アプリの名称は「My City Report（マイシティレポート）」です。ご活用ください。

◇◇◇　富士市青少年指導委員会から　◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

地域活動との連携について

富士見台班　船山　薫

富士見台地区では、新型コロナウイルスに負けないように、全ての地区の活動やイベントが中止とならないようにと、各種団体は頑張ってきました。

しかしながら、令和３年６月現在、色々な行事、イベントが中止になっており、小・中学生、高校生も集まる機会が減り、とても不安な状況になっています。

最近は、富士見台地区だけでなく、富士市内全体で、子供たちを狙った不審者について多くの情報を耳にします。

私たち青少年指導員富士見台班では、毎月、公園及び学校周辺のスーパーを夜間巡回しておりますが､外出を自粛している人達が多いためか､大人も子供たちも見かけることは、あまりありません。

そんな中でも、土曜日や日曜日、学校のグランドでは、子供たちが野球の練習を一生懸命頑張っています。

彼らのためにも、青少年指導委員だけでなく我々大人は、子供たちの守り方・育て方についての知識を身に付けていかなくてならないと考えます。

地域住民、地域そのものに守られて安全に過ごせることが、子供たちにとっては非常に大切なことだと思うのです。

何年続けられるか分かりませんが、今後もこの青少年補導活動に力を入れ、以前と変わらない地域活動､子供たちの健全育成と発展につながるよう頑張っていきたいと思います。

そして、地区の諸活動に向き合ってくれる青少年づくりや仲間づくり、地域住民の文化教養活動、子供たちが活発に参加できる活動、これらを様々な方法で結びつけて、元気な富士見台地区にしていきたいと考えています。

児童生徒の不登校が増加傾向？

青少年相談員　田中　亘

私は、今年の３月末で定年退職を迎えました。４月からは再雇用され、青少年相談センターで相談員として勤務しています。

働き始めて、最初に驚かされたのは、「ステップスクール・ふじ」を利用した児童生徒数でした。なぜなら、私の想像をはるかに上回る数だったからです。同時に、学校現場にいながら「ステップスクール・ふじ」の現状を何も理解していなかったと自分の無知を痛感させられました。昨年度の利用者数は 83 人で、過去最高でした。本年度は、これを上回ると思われるペースで利用者や相談者が増えています。「83」という数字は、あくまでも「ステップスクール・ふじ」を利用した児童生徒の数を表しています。実際には、学校にも行けず、「ステップスクール・ふじ」にも来られない児童生徒がこの数字の何倍も存在するかもしれません。そう考えると、マスコミ等で報道されているように不登校は増加傾向にあると言えるのかもしれません。

では、なぜ不登校が増加傾向にあるのでしょうか？その理由ははっきり分かりません。子どもの個性や育った環境ばかりでなく、新型コロナウィルス等を含めた様々な要因が複雑に絡み合って起こっていると考えられるからです。したがって、いつでも誰でもどの学校でも不登校が発生する可能性があります。「〇〇が悪い」「〇〇の責任だ」と発言するのは、ただの責任転嫁であり、不登校の解決には何の役にも立たないと思います。学校、家庭、地域（社会）、関係諸機関が連携・協力してこそ、解決に向けて前進することができるのではないでしょうか。

ただ、一つはっきり言えることは、子どもが悪いのではないということです。子どもは、環境の影響を一番受けやすく、周囲の大人の助けや支援を必要としています。子どもたちの声にならない叫びが、不登校という形で表れているのかもしれません。

その支援の一つが「ステップスクール・ふじ」です。富士市では小中学校で一人１台のタブレットＰＣが配置されました。それを活用すれば、自宅でも学ぶことが可能になりました。しかし、人は人とつながることが楽しいですし、人とつながることで様々なことを学びます。どんなにＡＩ（人口知能）やロボットが発達しても、人と人との直接的なかかわりが、大切であることは変わりません。むしろ今まで以上に重要視されるかもしれません。

さて、最後に、「ステップスクール・ふじ」の役目についてです。一番には子どもたちが社会で自立するための支援をする場所と思いますが、学校や家庭以外の「子どもの居場所」にしたいと考えています。ここでの活動を通して、他者とかかわりながら、自立や自己決定力を育むための支援ができればと願っています。また、様々なストレスで疲れた心を癒し、次への英気を養う時間をここでとってほしいと思います。

心配なことがあれば、気軽にセンターへご相談ください。また、様子をお知りになりたい時は、いつでも見学にお越しください。

☆☆☆ 電話相談集計 ☆☆☆

☆☆☆☆ 補導状況集計 ☆☆☆☆

街頭補導日誌（要約）　令和３年５月～７月

元吉原班	６月10日(木)	元吉原中学校との情報交換を行ったが、落ち着いている様子。 １年生の外国からの転入生、積極的に関わり合いを持とうとコミュニケーションをとり、とても良い人間関係を築いているとのこと。
浮島班	５月27日(木)	浮島まちづくりセンターに集合。新型コロナウィルス感染予防対策のため、徒歩でファミリーマートを巡回。 東小学校教頭先生と合流、児童には変わったことはないとのこと。
須津班	７月８日(木)	環境実態調査を兼ねて街頭補導を実施。 活動中自転車で帰宅途中の女子高生の方から挨拶してくれ、気を付けて帰るように声掛けをした。気分がよかった。
吉永第一班	５月27日(木)	まちセンにて東中・吉永一小の先生方と情報交換、共に落ち着いており、修学旅行・林間学校が無事終わり(中学)、授業参観を町内毎に区切って実施(小学)。駐在からは高校生の万引き増加中とのこと。
吉永北班	６月22日(火)	まちセンにてミーティング後に巡回、パトロールを実施。小学生とバイクの接触事故が発生した現場をパトロール、歩道は狭いものの特に危険な場所には感じられなかった。
原田班	５月13日(木)	原田小、吉原第三中学の両教頭先生と情報交換、コロナ禍での中学校の行事を心配して尋ねると、修学旅行は無事終了等の情報を得る。ﾀﾌﾞﾚｯﾄ、ｽﾏﾎ、不登校児童の話も出たが両校共に問題なしとのこと。
富士見台班	７月15日(木)	吉原北中、富士見台小の両教頭先生と情報交換、いずれも特に問題はないとのこと。公園、コンビニ、マックスバリュのイートインコーナーを巡回、子供たちの姿はなく問題はなかった。
神戸班	５月28日(金)	新東名側道の袋小路に１台、新東名北側に１台の車両を見かける。さんどまきの小さな公園にアベック、さんどまき公園に男子高校生２名。高校生に声を掛けると、財布を拾ったというので駐在に報告。
青葉台班	６月24日(木)	情報交換後、新東名トンネル、公園、広場、コンビニを巡回した。ふれあい公園周辺はタバコの吸殻もなくきれいだった。コンビニから出てきた男子高校生５人に気を付けて帰るよう声掛けをした。
今泉班	５月18日(火)	今回は西南方面を巡視。まちセンから西へ吉原公園北の道を通り、公園中央より南下、吉原公園を巡視。公園東側の休憩所ベンチに、老夫婦が夜の散歩のようで座っていた。公園で人を見たのは久しぶり。
吉原班	７月29日(木)	まちセン→鑑定団→ラウンドワンの巡回を実施。鑑定団は特に問題なし。ラウンドワンでは、ドンキホーテの後にできたクレーンゲームセンターを巡回、何組かの青少年が遊んでいた。今後も気を付けたい。
伝法班	５月13日(木)	伝法小・吉原一中の先生方と情報交換を行った。伝法小の先生から、放課後、自転車に乗って遊ぶ子供が多くなったとの話を聞いた。
広見班	５月13日(木)	駐在や岳陽中の先生方と情報交換。「校内は落ち着いている。周辺住民から、『登下校時に道路を広がって歩く、マスクをしていない。』との通報を受けた」とのこと。帰路でのパトロールを実施、解散。
大淵班	６月23日(水)	交番の最近車上荒らしが増加しているとの情報により、公共施設、ｺﾝﾋﾞﾆ、ﾊﾟﾁﾝｺ店等の駐車場を巡回したが、問題となるようなことはなかった。児童・生徒の姿はなく、自転車の高校生とすれ違った程度。
丘班	５月12日(水)	まちセンで丘小・岳陽中の先生方から学校の様子を聞く。特に問題はないとのことで、安心した。 スポーツ公園外周を、共にパトロールした。
鷹岡班	６月10日(木)	鷹岡まちセン→富士西公園→水道山公園→ＳＬ入山瀬公園 いずれも異常はなかった。
天間班	７月８日(木)	情報交換後、ファミリーマートにてオーナーと話をした。アクセルとブレーキを踏み間違えて店内に突っ込む物損事故が発生、幸いその場所に客がおらず、安堵したとのこと。店舗前での飲食を駐在に相談。
岩松班	５月20日(木)	まちセンに集合、岩松小教頭先生と情報交換。水が流れている用水路に入る小学生がおり、危険認識がない。不審者がスマホで連写との情報が学校に入り交番へ連絡、誤認だった。運動会は今年度中止。

岩松北班	６月23日(水)	情報交換後、車両２台にて北方面(岩本山公園、湯沢平)と南方面(実相寺、四ッ谷公園)に分かれ地区全体を巡回。自転車で帰宅途中の高校生を見かけたが、ライト点灯等問題なく声掛けに至らず。異状なし。
富士第一班	５月27日(木)	駅北まちセンに集合し、富士北班と合同で富士中の先生と情報交換をした。中学校では、３年生が浜松へ修学旅行、２年生は西湖へ林間学校、生徒たちは落ち着いているとのこと。巡回も特に問題なし。
富士北班	５月13日(木)	まちセン、中央小学校、米之宮公園及びドン・キホーテ駐車場周辺を巡回。米之宮公園では、剣道の稽古をしている人を見かけたが、暗い場所の上、防具を付けていたので、年齢等は分からなかった。
富士駅南班	６月11日(金)	富士南中の先生と情報交換。皆既日食の夜、松富町公園で十数名の中学生が騒いで近隣住民から苦情、見守りを行った。体育祭開催予定、部活は17時まで。巡回では駅前多目的トイレの改修終了を確認した。
富士南班	７月16日(金)	まちセンに集合、中学校の先生と話し合いを行った。体育祭･文化祭は開催予定。中学校と指導委員会の協力を確認。中学校の校庭内、子どもクラブ･幼稚園周辺、神社、新幹線側道を巡回、特に問題なし。
田子浦班	６月24日(木)	まちセンに集合して情報交換、特に問題となる情報はなく平和な状況。その後、徒歩で宮島新田公園、新浜本田公園を確認。青少年や自転車に乗っている市民に出会うこともなかった。無事、通常補導終了。
松野班	５月28日(金)	巡回前に第二小・中学校の教頭先生と情報交換。富士松野公園における一連の菓子の散乱や所持品の置去りについては特定と校内での指導が行われた様子。中学生の夜間外出の情報を伝えた。
女性第一班	５月15日(土)	中央公園とｻｰﾄﾞﾌﾟﾗﾈｯﾄをまわる。ﾊﾞﾗの季節で公園は混み、駐車場はほぼ満車。ｶﾒﾗを抱えた市民多数。問題なし。ｻｰﾄﾞﾌﾟﾗﾈｯﾄの一部が売却、ｺｲﾝｹﾞｰﾑ機が移動し、見通しの悪いｹﾞｰﾑｾﾝﾀｰになってしまった。
女性第二班	６月19日(土)	メガドンキＵＮＹ富士吉原店を巡回。11時を過ぎると買い物客も増え、イートインでは何組かの兄弟らしき子供たちが大人の買い物を待っている様子だった。ｹﾞｰﾑｾﾝﾀｰは親子連れが多く、目に付く問題なし。
女性第三班	７月24日(土)	ラウンドワン、鑑定団の巡回を行った。ドンキ撤退後、クレーンゲーム場に変わっていた。10円からゲームができ、子供たちが楽しめそうなものが盛り沢山。鑑定団の陳列は相変わらず。子供の姿なし。
女性第四班	６月５日(土)	富士川ふれあいホール駐車場集合、右岸側緑地公園を巡回。雨上がりで試合等の姿なし。家族連れがボール遊び、和やかな様子。菜園では祖父と孫の収穫する姿。子供たちもいるので、今後も巡回したい。
学校サポート	５月21日(金)	富士警察署青少年サポートセンター員と共に、吉原二中にて、生徒指導サポート員と情報交換、校内巡回を実施。吉原東中、富士中他３校の学校周辺の見守りを行う。青少年対策連絡会に参加。

９月～11月の行事予定

※新型コロナウィルス感染拡大や気象(荒天)、災害の状況等により、変更（中止や延期等）となることがあります。

9月	１(水) 総合防災訓練	10月	４(月) 補導措置会議	11月	１(火) 補導措置会議
	４(土) 合同相談会		６(水) (第４回)カウンセリング講座		２(火) 臨床心理士来所相談
	６(月) 補導措置会議		９(土) 家族会		９(火) 不登校対策連絡会
	11(土) 家族会		フォローアップミーティング		13(土) 家族会
	フォローアップミーティング		12(火) 臨床心理士来所相談		フォローアップミーティング
	14(火) 不登校対策連絡会		13(水) (第５回)カウンセリング講座		16(火) 臨床心理士来所相談
	臨床心理士来所相談		15(金) 青少年対策連絡会		19(金) 青少年対策連絡会
	15(水) (第１回)カウンセリング講座		16(土) 甲子秋まつり祭典補導		25(木) 体験学習（お菓子づくり）
	17(金) 青少年対策連絡会		17(日) 甲子秋まつり祭典補導		30(火) 臨床心理士来所相談
	21(火) 臨床心理士来所相談		19(火) 臨床心理士来所相談		
	22(水) (第２回)カウンセリング講座		26(火) 指導委員会全体研修会		
	体験学習（やきそばづくり）		体験学習（秋を楽しもう）		
	28(火) 臨床心理士来所相談		29(金) 保護者教室		
	29(水) (第３回)カウンセリング講座				

～青少年相談センターはこんな仕事をしています～

１　相談事業

面接相談

○ 学校生活や進路に関すること
○ 不登校に関すること
○ いじめや友人関係に関すること
○ 養育や生活態度・性格に関すること
○ 非行や性の悩みに関すること
○ その他青少年に関すること

【受付時間】９：００～１６：３０
（土日祝・年末年始を除く）

事前に相談センターに申し込んでください。

電話相談

学校生活や友人関係、進路、非行や不登校等、青少年に関する電話相談やメール相談

「ほっとテレフォン・ふじ」
９：００～１６：００（土日祝・年末年始を除く）
電話　0545(51)3741　またはメールで
e-mail : ky-soudan@div.city.fuji.shizuoka.jp

「ステップスクール・ふじ」

不登校児童生徒に時間と場所を提供し、一人一人に応じた支援を進める中で、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立していくことを目指します。

【利用時間】８：００～１８：００

○ 自律性と社会性を育てるために
・創作活動　　・自主学習　　など
○ 人間性を育てるために
・ゲーム　・スポーツ　・調理実習など

臨床心理士来所相談

月２～３回臨床心理士の先生に、子育てや発達についての悩みを相談することができます。

予約制ですので、日程及び申し込みについては、青少年相談センターまでお問合せください。

保護者教室

お子さんが学校に行くことができずにいる保護者さんが集まって、悩みや不安を共有したり、情報交換をしたりする会です。不登校の家族の会の方の経験談も聞くことができます。

日程につきましては、青少年相談センターまでお問合せください。

２　青少年非行防止事業

○ 青少年指導委員会
○ 青少年健全育成活動
○ 環境浄化活動

３　子ども・若者育成支援事業

富士市若者相談窓口「ココ☆カラ」

概ね中学校卒業から３９歳までの、ニート、ひきこもり、不登校など社会生活に困難を抱える若者とそのご家族の支援を行っています。

【受付時間】９：００～１７：００（火～土曜日）
（祝日・年末年始を除く）

住所　富士市八代町１番１号
富士市教育プラザ内
電話　0545(55)0562
e-mail : f-wakamono@chive.ocn.ne.jp

富士市青少年相談センター

住所　〒417-0024
富士市八代町１番１号（富士市教育プラザ内）
電話　0545(52)4152　　FAX　0545(52)3737
E-mail ：　ky-soudan@div.city.fuji.shizuoka.jp
アクセス　●富士警察署北側
●岳南電車ジャトコ前駅より徒歩２分